

資料番号	1
------	---

令和3年12月17日
課名 商工労働局
商工労働総務課
担当者 課長 長谷川
内線 3310

広島県経済の動向

2021年12月17日

商工労働局

目 次

I	経済動向の概要	1
1	国内経済の動向	
2	広島県経済の動向	
II	県内主要製造業の生産動向	3
1	鉄鋼	
2	自動車	
3	造船	
4	一般機械	
5	電気機械	
III	県内小売業等の動向	5
1	百貨店・スーパー	
2	飲食	
3	観光	
IV	中小企業の動向	7
1	概況	
2	景況感・景況感の変化	
3	前月から変化のあった主な業種	
V	企業倒産状況	9
1	概況	
2	業種別	
3	原因別	
4	今後の見通し	
VI	最近の雇用失業情勢	10
1	県内の有効求人・求職の動向	
2	県内の新規求人・求職の動向	
3	県内の人員整理の状況	
4	完全失業率の状況	

I 経済動向の概要

1 国内経済の動向

(1) 概要

指 標	R3年		
	9月	10月	11月
基調判断	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、このところそのテンポが弱まっている	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、そのテンポが弱まっている	景気は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和されつつあるものの、引き続き持ち直しの動きに弱さがみられる
輸出	緩やかな増加が続いている	増勢が鈍化している	おおむね横ばいとなっている
生産	このところ一部に弱さがみられるものの、持ち直している		持ち直しに足踏みがみられる
設備投資	持ち直している		
雇用情勢	感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、求人等の動きに底堅さもみられる		感染症の影響が残る中で、弱い動きとなっているものの、求人等の動きに底堅さもみられる
個人消費	弱い動きとなっている		一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる
住宅建設	このところ持ち直しの動きがみられる		
企業収益	感染症の影響により、非製造業の一部に弱さが残るものの、持ち直している		感染症の影響が残る中で、非製造業の一部に弱さがみられるものの、持ち直している

(2) 先行き

先行きについては、経済社会活動が正常化に向かう中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、供給面での制約や原材料価格の動向による下振れリスクに十分注意する必要がある。また、感染症による内外経済への影響や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

【内閣府「月例経済報告」（令和3年11月25日公表）】

2 広島県経済の動向

(1) 概要

指 標	R3年		
	9月	10月	11月
基調判断	持ち直しの動きが一服している		持ち直しの動きがみられている
輸出	自動車を中心に下押し圧力が強まっており、持ち直しのペースが一段と鈍化している		自動車を中心に下押し圧力が続いており、持ち直しのペースが一段と鈍化している
生産	自動車を中心に下押し圧力が強まっており、持ち直しの動きが一服している		持ち直しの動きが一服している
設備投資	緩やかに持ち直している		
雇用情勢	弱い動きがみられている		
個人消費	弱めの動きとなっている		持ち直しの動きがみられている
住宅投資	持ち直しつつある		持ち直している

(2) 県内の経済の先行き

先行きの景気は、徐々に改善に向かうことが期待されるが、感染症や供給制約などが県内の経済金融情勢に与える影響を引き続き注視していく必要がある。

【日本銀行広島支店「広島県の金融経済月報」（令和3年12月13日公表）】

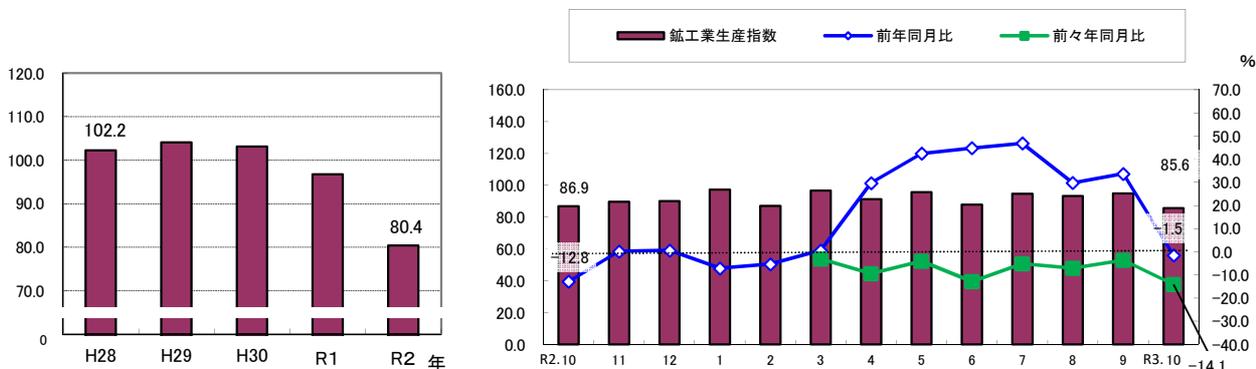
II 県内主要製造業の生産動向

1 鉄鋼(令和3年10月)

10月の鉄工業生産指数(鉄鋼業, 原指数, 速報値, 平成27年=100)は85.6で, 前年同月比で1.5%減少, 前々年同月比14.1%減少となっている。

鉄工業生産指数(鉄鋼業)(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

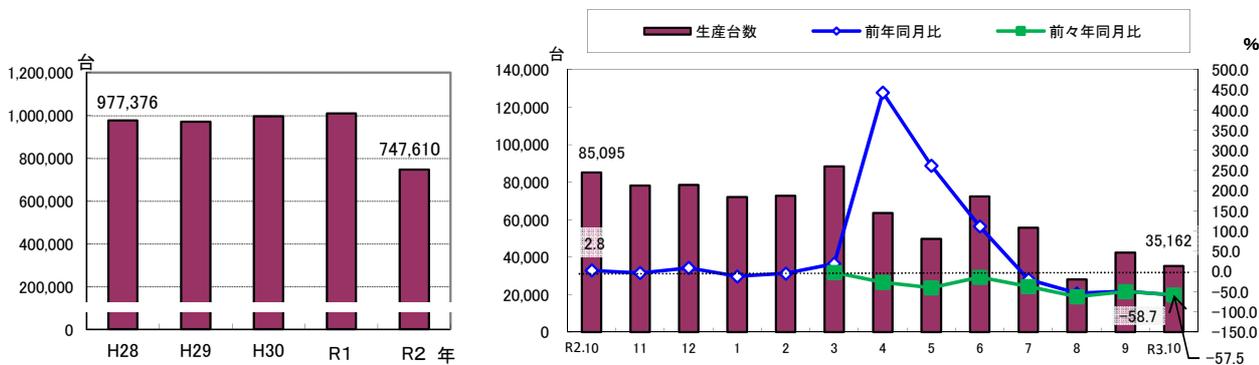


2 自動車(令和3年10月)

10月の国内生産台数は35,162台で, 前年同月比で58.7%減少, 前々年同月比57.5%減少となっている。

自動車生産台数(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【マツダ(株)】

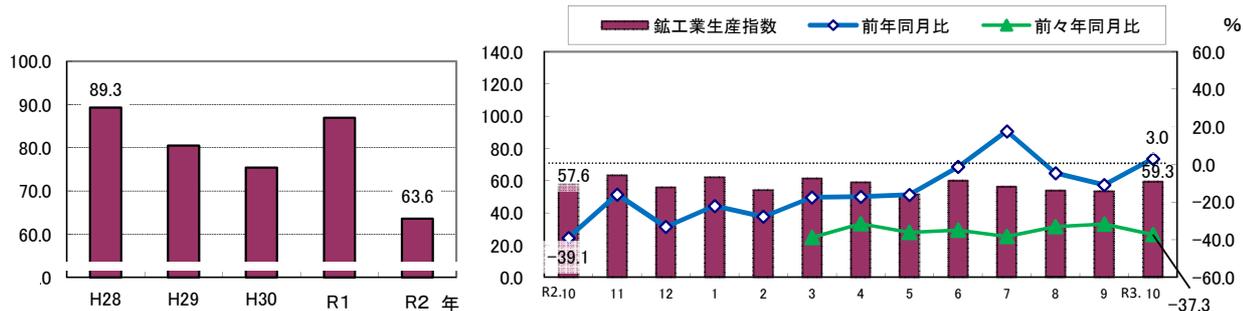


3 造船(令和3年10月)

10月の鉄工業生産指数(造船部門, 原指数, 速報値, 平成27年=100)は59.3で, 前年同月比で3.0%増加, 前々年同月比37.3%減少となっている。

鉄工業生産指数(造船部門)(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

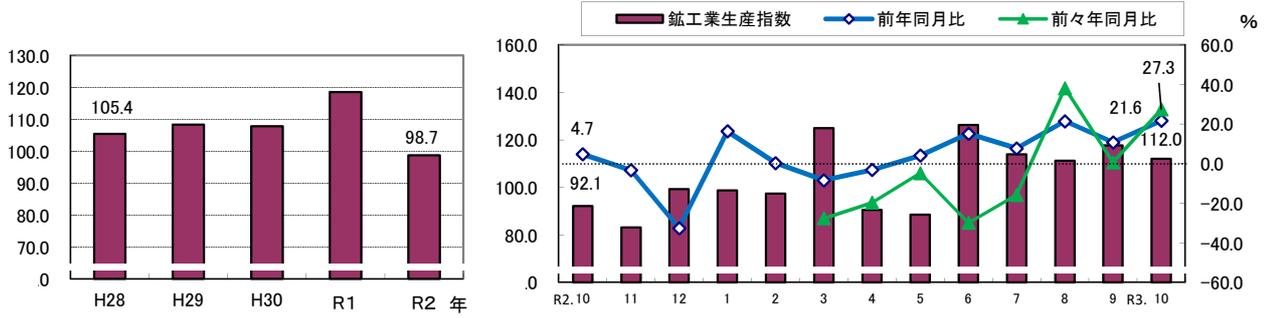


4 一般機械(令和3年10月)

10月の鉱工業生産指数(一般機械工業(総合), 原指数, 速報値, 平成27年=100)は112.0で, 前年同月比で21.6%増加, 前々年同月比27.3%増加となっている。

鉱工業生産指数(一般機械(総合))(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

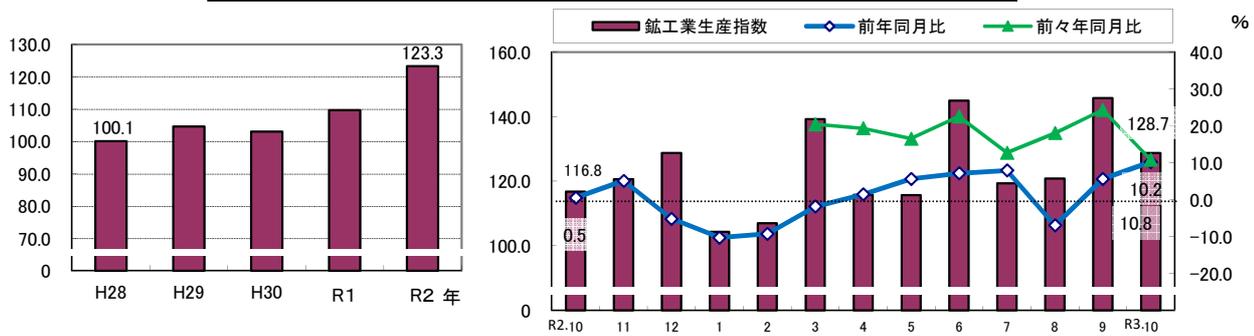


5 電気機械(令和3年10月)

10月の鉱工業生産指数(電気機械工業(総合), 原指数, 速報値, 平成27年=100)は128.7で, 前年同月比で10.2%増加, 前々年同月比10.8%増加となっている。

鉱工業生産指数(電気機械工業(総合))(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

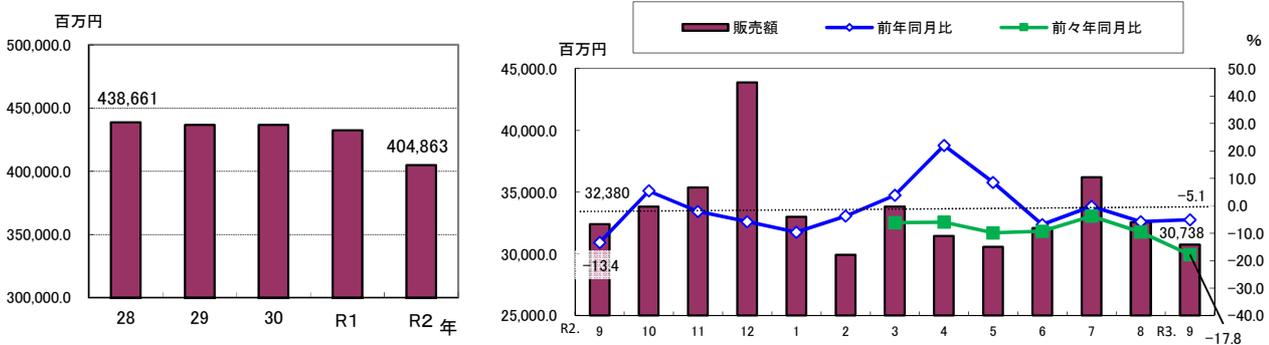


Ⅲ 県内小売業等の動向

1 百貨店・スーパー(令和3年9月)

広島県の9月の販売額は、30,738百万円(速報値)で全店舗前年同月比で5.1%減少、前々年同月比17.8%減少となっている。

中国地域百貨店・スーパー販売動向(広島県)(年別、月別・前年同月比・前々年同月比) 【中国経済産業局】

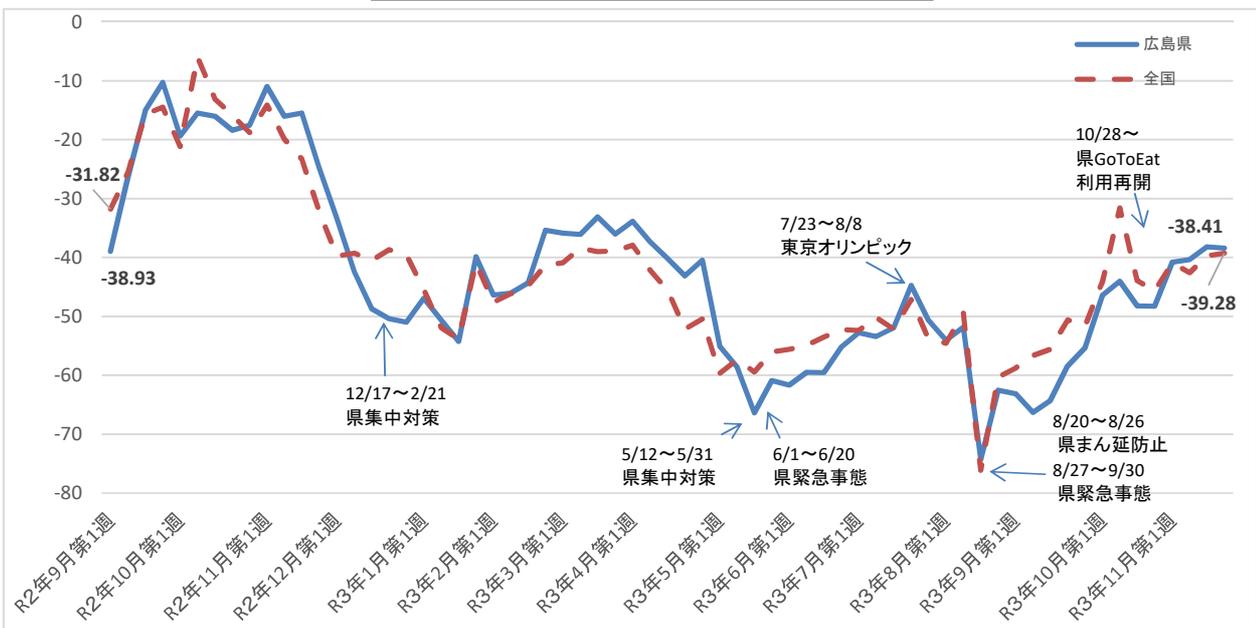


2 飲食(令和3年11月)

広島県の11月の大手飲食店情報サイト閲覧数の令和元年同週比は39.28%減少となっている。

【V-RESAS (Retty株式会社 Food Data Platformより提供)】

飲食店情報の閲覧数(広島県)(令和元年同週比)



3 観光

(1) 宿泊客数(令和3年9月)

直近の数値である、令和3年9月の宿泊客数は、前年同月と比べ34.9万人泊減(△50%)、令和元年同月と比べ63万人減(△64%)となっている。

【観光庁 宿泊旅行統計調査】

区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	1-9月計
広島県	宿泊者数	30.3	34.4	52.9	47.0	39.7	31.2	52.3	47.7	34.7	370.3
	R2年宿泊者数	73.6	72.6	54.7	26.5	20.9	34.4	53.5	60.5	69.6	466.5
	R2年比	41%	47%	97%	177%	189%	91%	98%	79%	50%	79%
	R元年宿泊者数	74.4	77.1	101.8	108.7	108.7	87.5	94.2	114.8	97.7	865.2
	R元年比	41%	45%	52%	43%	36%	36%	55%	42%	36%	43%
全国	宿泊者数	1,729	1,763	2,729	2,244	2,047	1,960	2,991	3,098	2,243	20,804
	R2年比	37%	43%	106%	208%	229%	124%		108%	79%	91%

※R3年は第2次速報値で、R元年及びR2年は確定値を反映。

R3年の数値は、宿泊旅行統計調査の確定値公表時に置き換えるものとする。

なお、数値については、単位未満の端数処理を行っているため、表内で一致しない場合がある。

(2) 県内主要観光施設の観光客数(令和3年10月)

8月及び9月の観光客数は、県の集中対策、まん延防止等重点措置・緊急事態宣言に伴う観光施設等の休業及び外出自粛などにより、昨年、一昨年と比較し、減少した。

10月は、緊急事態宣言の解除や、観光誘客促進事業の開始等により、観光客数は回復傾向にあるが、多くの観光施設において、昨年の水準には戻っていない。

【各観光施設からの問取調査】

観光施設	R元年			R2年			R3年			
	8月	9月	10月	8月	9月	10月	8月	9月	10月	
広島平和記念資料館	213,606	164,579	237,213	40,427	38,362	66,339	9,643	休館	67,337	
	R元年比	—	—	19%	23%	28%	5%	—	28%	
	R2年比	—	—	—	—	—	24%	—	102%	
宮島来島者数	447,417	332,267	406,033	160,742	187,164	230,795	132,730	96,265	200,325	
	R元年比	—	—	—	36%	56%	57%	30%	29%	49%
	R2年比	—	—	—	—	—	83%	51%	87%	
大和ミュージアム	141,051	91,724	97,758	33,982	31,577	31,974	23,910	休館	30,238	
	R元年比	—	—	—	24%	34%	33%	17%	—	31%
	R2年比	—	—	—	—	—	70%	—	95%	
道の駅たけはら	16,191	15,924	16,417	13,403	11,119	12,131	9,938	10,771	13,906	
	R元年比	—	—	—	83%	70%	74%	61%	68%	85%
	R2年比	—	—	—	—	—	74%	97%	115%	
神楽門前湯治村(定期公演)	3,517	1,981	3,437	休館	休演	休演	785	休演	1,113	
	R元年比	—	—	—	—	—	22%	—	32%	
	R2年比	—	—	—	—	—	—	—	—	
千光寺山ロープウェイ	50,681	41,576	43,134	27,285	26,682	32,310	16,177	休業	24,639	
	R元年比	—	—	—	54%	64%	75%	32%	—	57%
	R2年比	—	—	—	—	—	59%	—	76%	
福山市鞆の浦歴史民俗資料館	1,654	1,229	2,072	887	881	2,949	218	休館	1,914	
	R元年比	—	—	—	54%	72%	142%	13%	—	92%
	R2年比	—	—	—	—	—	25%	—	65%	
国営備北丘陵公園(千人)	44	30	70	39	43	54	17	休園	48	
	R元年比	—	—	—	88%	143%	77%	40%	—	69%
	R2年比	—	—	—	—	—	45%	—	89%	

IV 中小企業の動向(令和3年10月)

【広島県中小企業団体中央会（令和3年11月15日時点）】

1 概況

全体的には、新型コロナウイルス感染者数の減少により緊急事態宣言が解除されたものの、景気は横ばいもしくは下降傾向である。石油等エネルギーの高騰とともに原材料の不足や価格上昇によって、生産効率、収益状況の悪化が様々な業種で見られる。また、半導体不足による自動車の減産、ウッドショックによる合板不足の影響も散見される。依然として、先行き不透明感が強く、今後の需給動向をしっかりと注視していく必要がある。

自動車関連業種では、国内自動車販売台数が前年同月比31.3%減少と4ヶ月連続での前年割れとなった。マツダ車は同27.8%減少と5ヶ月連続の前年割れとなり、マツダ車の海外販売合計台数は前年同月比21.0%減少と3ヶ月連続の前年割れとなった。

木材業界では、全国住宅着工戸数は前年同月比4.3%増加となり、広島県内の着工戸数は前年同月比3.1%増加となった。

2 景況感・景況感の変化

※マツダ車に関する記載はマツダ（株）が発表する「生産・販売状況について（速報）」に基づく

業種	9月の景況感	10月の景況感
食料品	やや悪い	やや悪い
繊維・衣服	やや悪い	やや悪い
木材	やや好況	やや好況
家具	やや悪い	やや悪い
印刷	やや悪い	やや悪い
化学	やや悪い	やや悪い
プラスチック製品	悪い	悪い
土石製品	悪い	悪い
鉄鋼(鋳物)	やや悪い	やや悪い
金属製品	悪い	悪い

業種	9月の景況感	10月の景況感
一般機械器具	やや悪い	普通
電気機械器具	やや好況	やや好況
自動車部品	普通	やや悪い
造船	やや悪い	やや悪い
建設	やや悪い	やや悪い
トラック輸送	やや悪い	やや悪い
内航海運	悪い	悪い
卸売	やや悪い	普通
小売	やや悪い	やや悪い
情報サービス	普通	普通

(単位・業種)

景況感	9月	10月	増減
好況	0	0	0
やや好況	2	2	0
普通	2	3	1
やや悪い	12	11	▲1
悪い	4	4	0

3 前月(9月)から変化のあった主な業種

業種	9月の景況感	10月の景況感	変化の理由・状況
一般機械器具	やや悪い	普通	<p>・今月の売上は、前月比15%増加、前年同月比5%増加となった。一般機械、半導体製造装置、輸送用機械等を中心に概ね堅調推移である。受注については、順調に推移しているが、半導体や部品の供給不足、価格高騰の影響が懸念材料である。</p> <p>【広島県東部機械金属工業協同組合】</p>
卸売	やや悪い	普通	<p>・雑貨においては、生活必需品等全般的に堅調推移が見込まれる一方、紙関連の需要は先行きが依然厳しい。資材においては、全般的に原材料の相場動向、価格設定を見極めている状況。食品においては、外食・小売向けは短期的に需要増が見込まれるが、コロナ禍以前の水準に回復するには一定期間が必要。繊維においては、現時点で新型コロナウイルス感染者数減少による効果は見られず。当面は冬季の重衣料の需要に左右される。</p> <p>【協同組合広島総合卸センター】</p>
自動車部品	普通	やや悪い	<p>・組合員の業況は、ビジネス依存度が高い主要顧客（マツダ）の業況（生産台数）に比例している。直近ではアジア地区のコロナの影響と、半導体の供給不振が11月1週までは続いている。ただし、11月2週目以降はフル生産を見込んでおり、人的資源も含めた準備をしている。</p> <p>・アメリカの9月度の全需は1,007千台で、前年同月比26.1%減少と2ヶ月連続で減少。マツダ車は前年同月比0.8%減少と、5ヶ月振りに前年同月を下回る結果となった。</p> <p>・欧州の9月の全需は1,132千台で、前年同月比26.5%減少と3ヶ月連続で前年割れ。マツダ車は同9.4%減少と前年同月を下回った。</p> <p>・中国の9月の全需は2,492千台で、前年同月比3.2%減少と6ヶ月連続で前年割れ。マツダ車は同21.5%減少と6ヶ月連続で前年割れとなった。</p> <p>・半導体不足の影響により各地域への車両供給が滞り、マツダ車の9月の海外販売合計はほぼ全ての地域でマイナスとなり、90千台、前年同月比10.3%減少で2ヶ月連続の前年割れとなった。</p> <p>【東友会協同組合】</p>

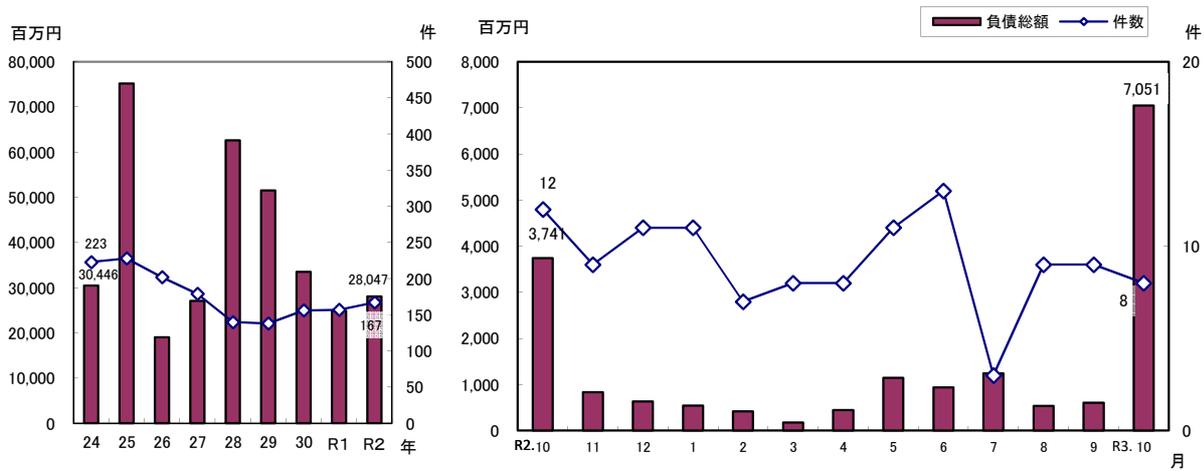
V 企業倒産状況(令和3年10月)

1 概況

- ・負債総額1,000万円以上倒産は、件数が8件、総額70億5,100万円であった。
- ・前月比で件数は1件減少し、負債総額は64億4,400万円増加した。
- ・前年同月比では、件数は4件減少し、負債総額は33億1,000万円増加した。
- ・大型倒産（負債総額10億円以上）は1件発生した。

区分	令和3年8月	令和3年9月	令和3年10月
件数 (前年同月比)	9件 (18.2%減)	9件 (50.0%増)	8件 (33.3%減)
負債総額 (前年同月比)	537百万円 (54.7%減)	607百万円 (75.2%減)	7,051百万円 (88.47%増)

企業倒産件数・負債総額(1,000万円以上)(年別、月別・前年同月比)



2 業種別

件数は、卸・小売・飲食業が4件、サービス業が2件、製造業・建設業が各1件となった。負債総額では、サービス業、卸・小売・飲食業、製造業、建設業の順となった。

3 原因別

原因別では、販売不振が5件、シワ寄せ、設備投資過大、その他が各1件であった。

4 今後の見通し

令和3年10月度の倒産した企業の負債総額は50億円を上回る倒産が1件発生（負債総額50億円を上回る倒産は平成31年1月（株）広電ストアの負債総額60億円以来、33ヵ月ぶり）して13ヵ月ぶりに前年同月の金額を上回った。しかし、件数は2ヵ月ぶりに前年同月を下回り、依然として倒産は抑制された状態が続いている。

新型コロナウイルスの新規感染者数は全国的に減少傾向が続き、緊急事態宣言や、その後10月14日までの集中対策も解除となって、これまで制限されていた飲食店などでは通常どおりの営業が可能となったことに加えて、「Go To Eatキャンペーン広島」の販売が再開されるなど消費喚起の動きも出てきており、経済活動が回復してきている面が窺える。

しかし、半導体不足の長期化は自動車メーカーだけでなく、家電メーカーなど製造業中心に影響が及んで減産を余儀なくされ、期待されるリベンジ消費にも水を差す可能性が高く、関連する企業の売上回復にも厳しい環境が続いている。また、燃料価格や各種資材の高騰が続いており、企業の採算性悪化を招いている。

コロナ禍の緊急避難的な資金繰り支援策は、倒産抑制に大きく寄与したが、売上が落ち込んだ企業は過剰債務に陥った。前述のとおり、厳しい環境のなか、既に過剰債務を抱えた企業や業績回復が見込めない企業では新たな資金調達が困難な先もあると予測され、資金繰りがさらに悪化することが懸念される。そのため、資金需要が高まる年末年始に向かって体力のない企業の息切れ倒産が押し上げる形で倒産件数が増勢に転じる可能性が強まっている。

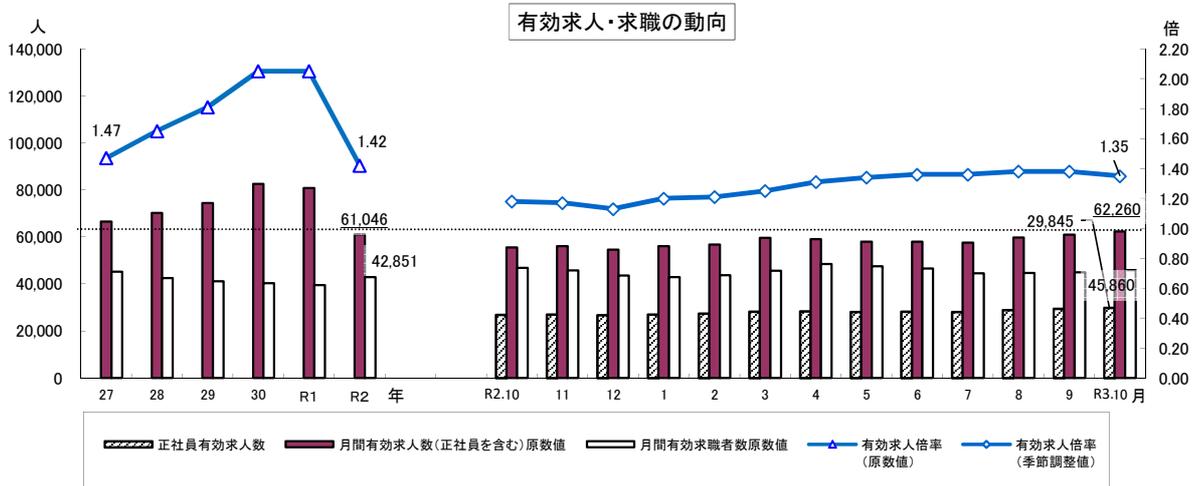
【（株）東京商工リサーチ（11月15日時点）】

VI 最近の雇用失業情勢(令和3年10月)

1 県内の有効求人・求職の動向

区 分	令和3年8月	令和3年9月	令和3年10月
有効求人倍率<季節調整値> (前月比)	1.38倍 (+0.02ポイント)	1.38倍 (±0.00ポイント)	1.35倍 (▲0.03ポイント)
正社員有効求人倍率 (前年同月比)	1.09倍 (+0.16ポイント)	1.09倍 (+0.15ポイント)	1.09倍 (+0.14ポイント)

【広島労働局】



(注1) 正社員有効求人倍率は、正社員の有効求人数をパートタイムを除く常用有効求職者数(派遣労働者や契約社員を希望する者も含む)で除して算出しているため、厳密な意味での正社員有効求人倍率より低い値となる。

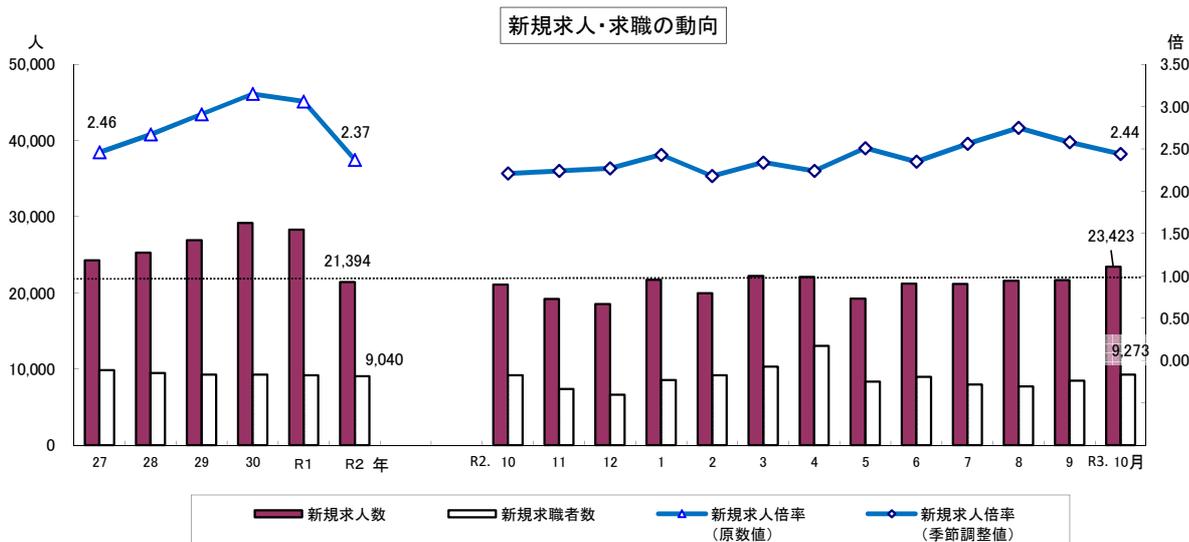
(注2) 正社員有効求人倍率は、季節調整されていない。

(注3) 令和2年12月以前の季節調整値は改訂されている。(令和3年1月分公表時改訂)

2 県内の新規求人・求職の動向

区 分	令和3年8月	令和3年9月	令和3年10月
新規求人倍率<季節調整値> (前月比)	2.75倍 (+0.19ポイント)	2.58倍 (▲0.17ポイント)	2.44倍 (▲0.14ポイント)

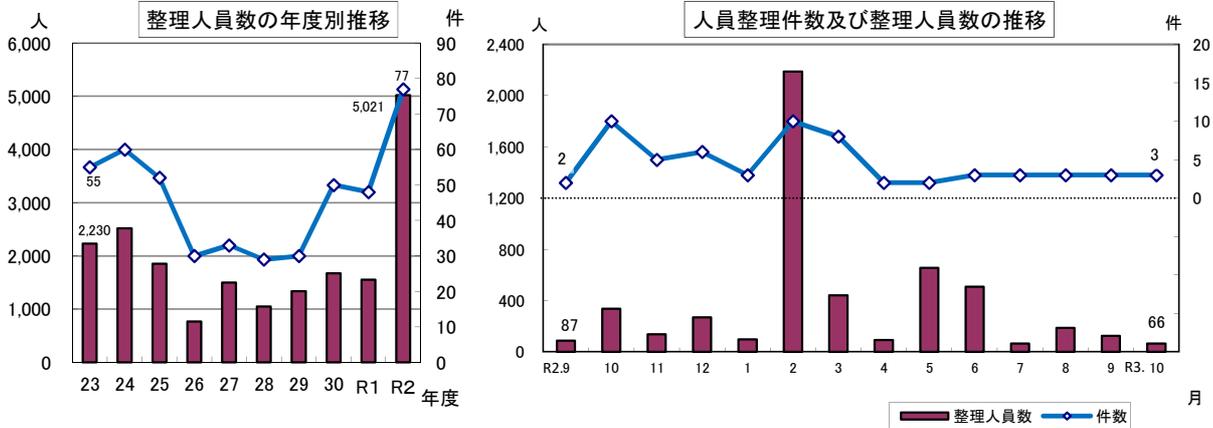
【広島労働局】



(注) 令和2年12月以前の季節調整値は改訂されている。(令和3年1月分公表時改訂)

3 県内の人員整理の状況(整理人員10人以上)

区 分	令和3年8月	令和3年9月	令和3年10月
件数 (前年同月比)	3件 (▲ 8件)	3件 (+ 1件)	3件 (▲ 7件)
整理人員 (前年同月比)	188人 (▲ 367人)	125人 (+ 38人)	66人 (▲ 270人)

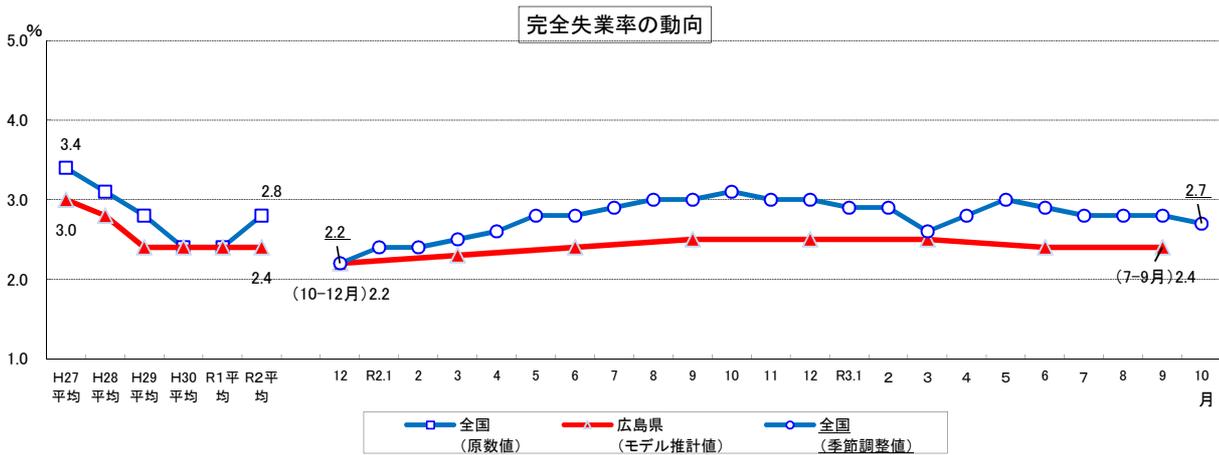


4 完全失業率の状況

区 分	令和3年8月	令和3年9月	令和3年10月
全国完全失業者数 (前年同月比)	193万人 (▲13万人)	192万人 (▲18万人)	183万人 (▲32万人)
全国完全失業率<季節調整値> (前月比)	2.8% (±0.0ポイント)	2.8% (±0.0ポイント)	2.7% (▲0.1ポイント)

区 分	令和3年		
	1～3月平均	4～6月平均	7～9月平均
広島県完全失業率 <モデル推計値> (前年同期比)	2.5% (+0.2ポイント)	2.4% (±0.0ポイント)	2.4% (▲0.1ポイント)

【総務省統計局】



※ 広島県(モデル推計値)は、毎年1～3月期平均公表時に、新たな結果を追加して再計算を行い、前年までの四半期平均及び年平均結果を過去にさかのぼって一部改定している。